



平成21年4月10日

宿泊旅行統計調査 =九州版= ～平成20年分の集計結果がまとまりました～

国土交通省では、我が国の宿泊旅行の実態を明らかにし、その結果を今後の観光政策のために活用することを目的として、観光分野において初めての全国統一の統計調査である「宿泊旅行統計調査」を平成19年1月から四半期毎に実施しています。

この度、九州運輸局管内の宿泊旅行統計調査の平成20年分の集計結果を取りまとめましたのでお知らせします。

～平成20年の主な特徴（前年との比較など）～

- 九州全体の宿泊者数は、**2.6%減少**
- 九州各県ともに減少する中で、**鹿児島県のみ増加**
- 特に外国人宿泊者数が著しく**減少（鹿児島県以外）**
- 九州域内の流動が高い（**4割強**）
- 韓国からの宿泊者数が多い（**5割強**）

調査結果の概要については、別紙のとおりです。

なお、調査の対象、方法等については、別添のとおりです。

（注）平成20年の集計結果については、年間の新設・廃業施設のデータを反映させた確定値を本年6月頃に公表予定であり、今回の集計結果から若干の修正がありえます。

【問い合わせ先】

九州運輸局企画観光部 観光地域振興課
（担当）福山、稲葉、永松
（電話）092-472-2920



【宿泊旅行統計調査結果の概要】

1. 延べ宿泊者数

- 全国の延べ宿泊者数は、3億615万人泊
うち外国人は、2,227万人泊、外国人の占める割合は7.3%。
- 九州の延べ宿泊者数は、3,187万人泊
うち外国人は、184万人泊、外国人の占める割合は、5.8%。
- 九州の対全国シェアは、延べ宿泊者数が、10.4%
外国人は、8.3%。
ブロック別にみると、九州は、関東、近畿、中部に次いで第4位、外国人は、関東、近畿、北海道に次いで第4位。
- 全国の対前年比は、延べ宿泊者数が、1.0%減。
うち外国人は1.7%減。
- 九州の対前年比は、延べ宿泊者数が、2.6%減。
うち外国人は8.2%減。

年別延べ宿泊者数

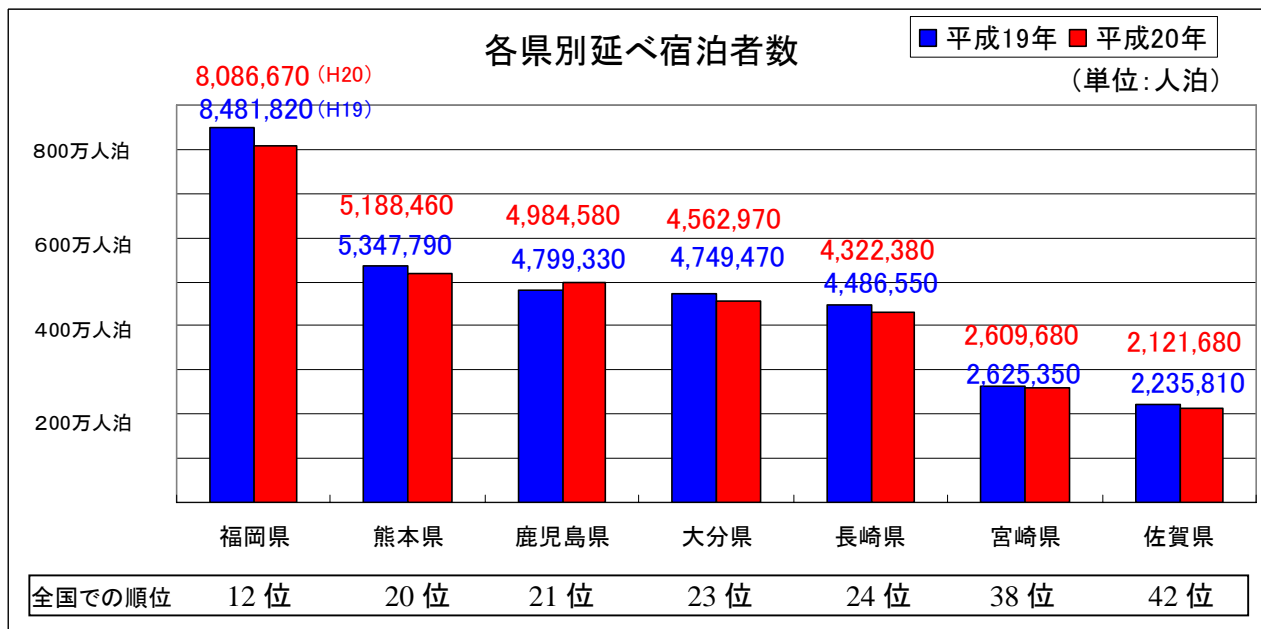
(単位：人泊)

	延べ宿泊者数		前年同期比	うち外国人	外国人のシェア	
					外国人のシェア	前年同期比
平成19年 1月～12月	全国	309,381,780	—	22,654,340	7.3%	—
	九州	32,726,120	—	2,009,200	6.1%	—
	九州のシェア	10.6%	—	8.9%	—	—
平成20年 1月～12月	全国	306,147,640	99.0%	22,274,700	7.3%	98.3%
	九州	31,876,420	97.4%	1,844,890	5.8%	91.8%
	九州のシェア	10.4%	—	8.3%	—	—



2. 九州各県別延べ宿泊者数

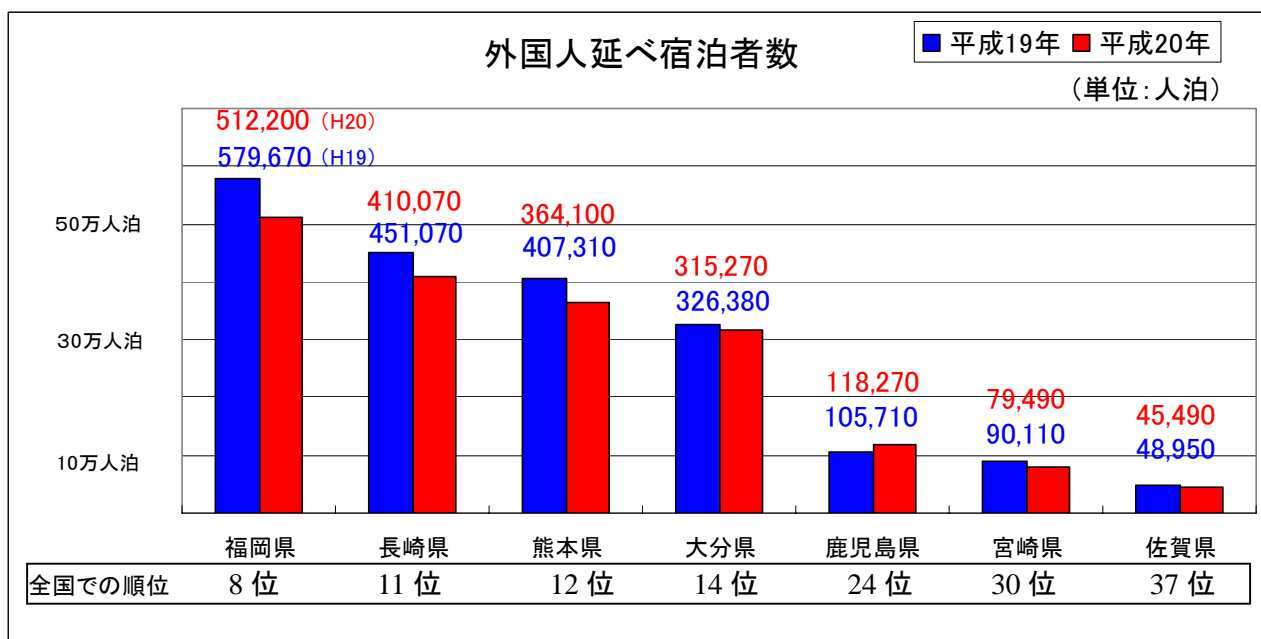
九州各県別延べ宿泊者数（日本人及び外国人）の順位は、①福岡県、②熊本県、③鹿児島県、④大分県、⑤長崎県、⑥宮崎県、⑦佐賀県。



増減率は、鹿児島3.9%、宮崎▲0.6%、熊本▲3.0%、長崎▲3.7%、大分▲3.9%、福岡▲4.7%、佐賀▲5.1%となっている。

3. 各県別外国人延べ宿泊者数

各県別外国人延べ宿泊者数の順位は、①福岡県、②長崎県、③熊本県、④大分県、⑤鹿児島県、⑥宮崎県、⑦佐賀県。

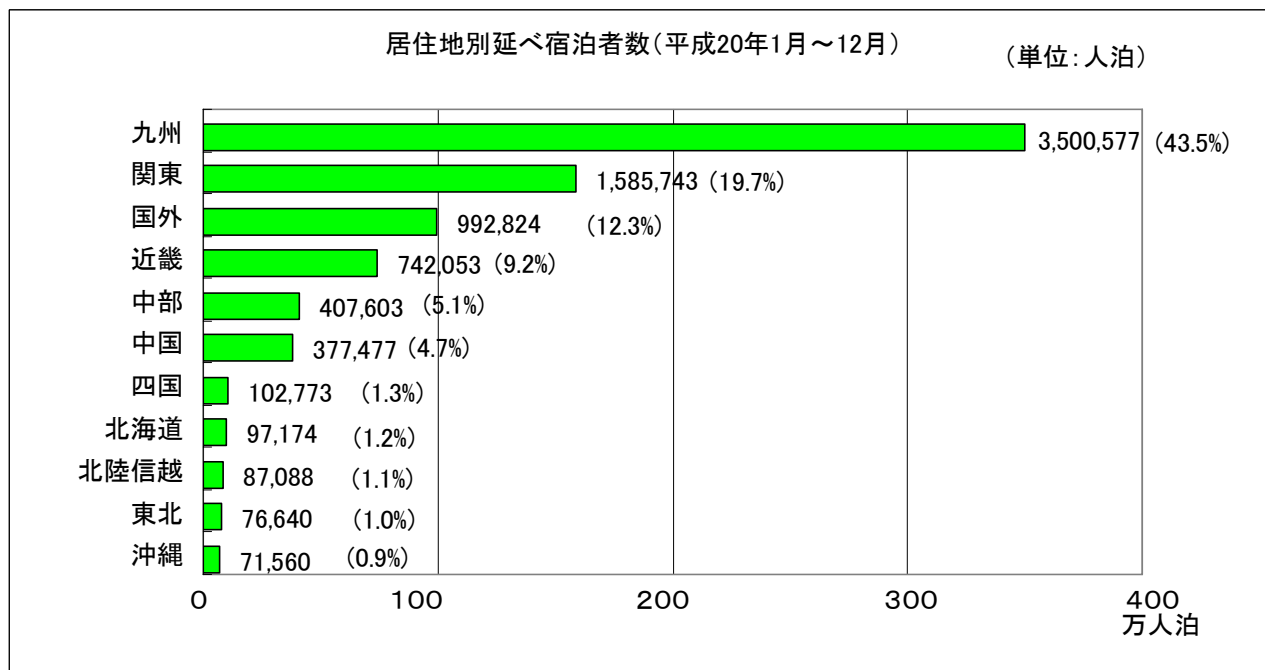


増減率は、鹿児島11.9%、大分▲3.4%、佐賀▲7.1%、長崎▲9.1%、熊本▲10.6%、福岡▲11.6%、宮崎▲11.8%となっている。



4. 居住地別延べ宿泊者数（九州への流動状況：従業員数 100 人以上の施設が対象）

居住地別延べ宿泊者数の流動状況は、九州域内での流動が4割強を占め、続いて関東、国外、近畿の順となっている。



5. 国籍別外国人延べ宿泊者数

○国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数は、韓国が5割強を占め、続いて台湾、香港の順となっている。

○外国人延べ宿泊者数は、九州全体で8.2%減少しており、中でも韓国の減少率が13.4%と著しい。

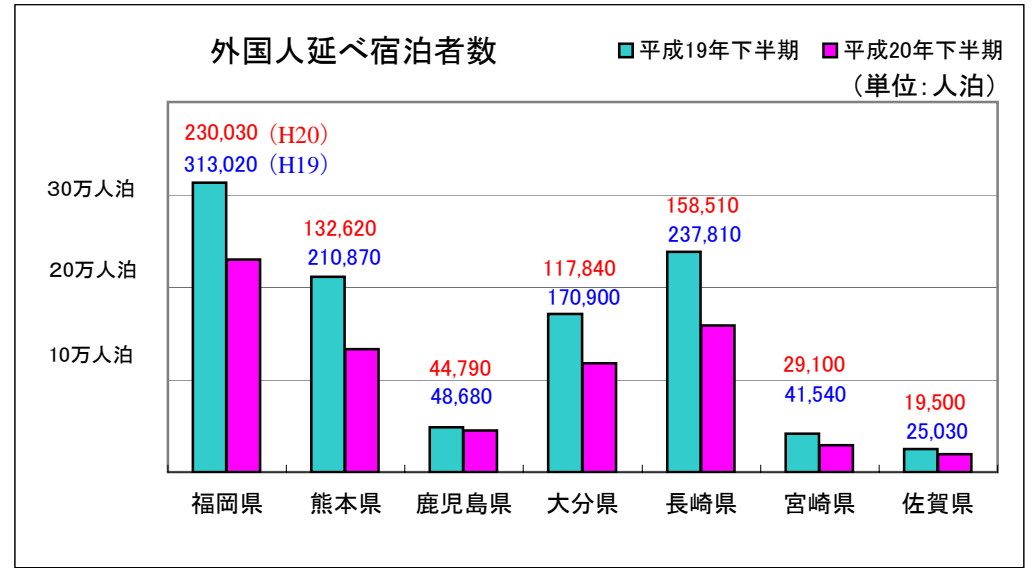
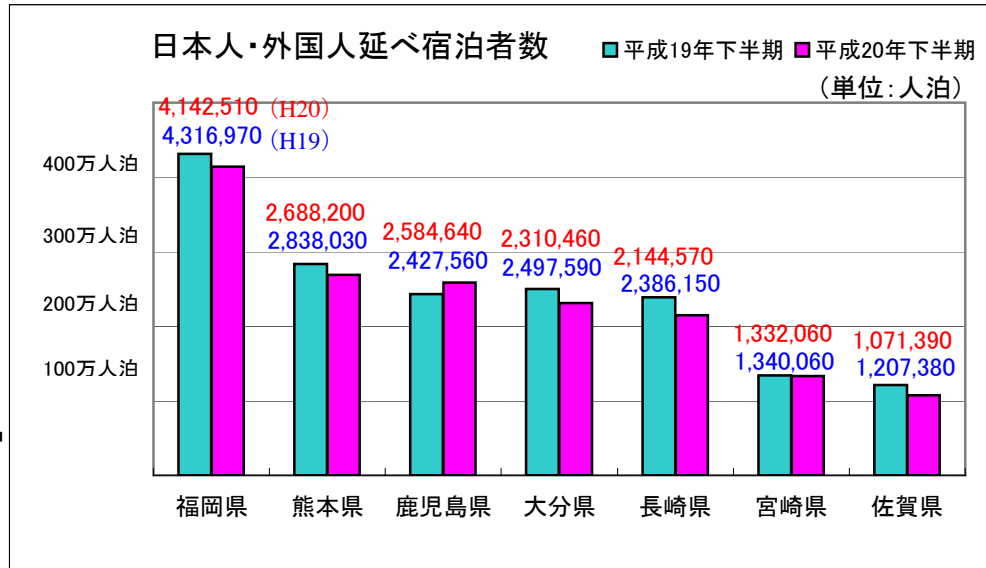
国籍別外国人延べ宿泊者数及び割合（平成20年1月～12月）

順位	九州				全国			
	国籍(出身地)	人泊	割合	増減率	国籍(出身地)	人泊	割合	増減率
1	韓国	997,190	54.1%	-13.4%	韓国	3,803,430	17.1%	-12.6%
2	台湾	305,620	16.6%	-3.3%	台湾	3,705,240	16.6%	-4.6%
3	香港	102,330	5.5%	17.8%	アメリカ	2,755,320	12.4%	-8.0%
4	アメリカ	84,350	4.6%	-1.5%	中国	2,474,080	11.1%	12.0%
5	中国	69,140	3.7%	-6.9%	香港	1,843,660	8.3%	5.1%
6	タイ	31,750	1.7%	12.7%	オーストラリア	632,000	2.8%	20.3%
7	シンガポール	22,090	1.2%	26.6%	シンガポール	586,710	2.6%	10.4%
8	ドイツ	13,330	0.7%	34.1%	イギリス	542,200	2.4%	-1.9%
9	イギリス	11,210	0.6%	13.3%	フランス	482,470	2.2%	10.9%
10	オーストラリア	9,110	0.5%	25.7%	タイ	466,470	2.1%	5.8%
11	フランス	7,730	0.4%	12.7%	ドイツ	440,420	2.0%	-3.1%
12	カナダ	6,920	0.4%	17.7%	カナダ	257,040	1.2%	1.3%
13	その他、国籍不明	184,120	10.0%	75.1%	その他、国籍不明	4,285,660	19.2%	0.5%
	合計	1,844,890	100%	-8.2%	合計	22,274,700	100%	-1.7%

平成19年、20年の下半期実績の比較

○延べ宿泊者数は、鹿児島県を除き、各県とも減少した。特に、佐賀県、長崎県の落ち込みが激しい（10%以上減少）。

○外国人延べ宿泊者数は、すべての県で減少した。特に、熊本県、長崎県、大分県の落ち込みが激しい（30%以上減少）。



日本人・外国人延べ宿泊者数 (単位:人泊)

都道府県	平成19年下半期	平成20年下半期	増減率	九州内比率
福岡県	4,316,970	4,142,510	-4.0%	25.5%
熊本県	2,838,030	2,688,200	-5.3%	16.5%
鹿児島県	2,427,560	2,584,640	6.5%	15.9%
大分県	2,497,590	2,310,460	-7.5%	14.2%
長崎県	2,386,150	2,144,570	-10.1%	13.2%
宮崎県	1,340,060	1,332,060	-0.6%	8.2%
佐賀県	1,207,380	1,071,390	-11.3%	6.6%
九州計	17,013,740	16,273,830	-4.3%	100%

外国人延べ宿泊者数 (単位:人泊)

都道府県	平成19年下半期	平成20年下半期	増減率	九州内比率
福岡県	313,020	230,030	-26.5%	31.4%
熊本県	210,870	132,620	-37.1%	18.1%
鹿児島県	48,680	44,790	-8.0%	6.1%
大分県	170,900	117,840	-31.0%	16.1%
長崎県	237,810	158,510	-33.3%	21.6%
宮崎県	41,540	29,100	-29.9%	4.0%
佐賀県	25,030	19,500	-22.1%	2.7%
九州計	1,047,850	732,390	-30.1%	100.0%

(備考) 平成20年の全国の訪日旅行者数は、上半期は前年比10.0%増であったが、8月以降は前年比マイナス。

別 添

【宿泊旅行統計調査の対象、方法等】

1. 調査対象期間

- 平成20年1月～12月

2. 調査対象施設数

- 従業員10人以上のホテル、旅館及び簡易宿所 1,293施設

従業員数		10人～29人	30人～99人	100人以上	計
施設数	全国	5,652	3,435	1,084	10,171
	九州	733	436	124	1,293

3. 回収率

- 九州 77.6% 全国 72.7%

4. 調査方法

- 国土交通省から、調査対象施設へ調査票を配布し、調査対象施設が、自ら記入し返送する方法で実施